

四月二十三日登山日和。参加者七名。六時三千分二本松市役所出発。高速にて猪苗代 ICへ。七時道の駅にて立花氏と合流。再度高速へ上り、会津坂下 ICに



四月山行 鳥屋山山開き

報告 中脇ゆき子

あだたら

発行所
二本松市新生町
あたら山の会
編集部

●編集部連絡先
二本松市茶園1-163-3
0243(23)4425



磐越西線 萩野駅前で安全祈願祭

十一時五分山頂。既に登山者で大にぎわい（主催者によると参加者約六百人）。山頂からは白い飯豈が望める。山には白い衣（ころも）が一番似合う。

星食休憩後下山開始、一時五十五分。往路をそのままとり、登山口着十三時二十分。抽選会場で甘酒を頂き、温泉入浴後帰途。一本松着十七時丁度。

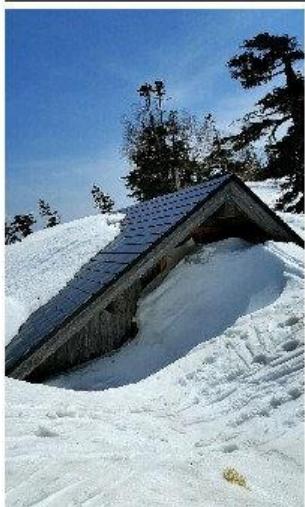
つて巻道をする。第二見晴

個人山行南会津、三岩岳

報告 加藤充彦



十六日三岩岳行って来ましたので、しばらくぶりに山行報告します。
h七七〇、スタート、八時十四分沢入る。
h九六〇、尾根合流点九時十分休憩。
h一三〇五、十時二十四分これから急登始まる。
h一六九五、十一時三十四分台地が開ける、天気良く気持ちの良い登高が続く、十二時三十分岩の上に出た。昨年三岩沢へのドロップポイントは、あの下だったがあの恐怖の斜度はやはり見えない、N氏が岩の



山頂下避難小屋

雪庇と急斜面、本日沢へ飛び込んでいる者はいない。滑り出し十三時三十分、上りトレースよりやや西側緩斜面を滑り込む。春ザラメ好感触、板滑走面のシャリ感がたまらない。体力有關は何度も登り返したくなる、いつも感じる事だ。二発三発快適滑走、AさんKさんビデオ？？やタブで撮影。P一六九九からはチョイ西側沢沿いを行き尾根滑りに興じる、雪重だがまた楽し。い。
h一三〇〇迄トラバースで流しコーヒータイム、やはり二の腕と太腿が痙攣寸前、これもいつもの事、登り出しから一緒の宇都宮の若手テレマーカーは軽やかだね？。これより往路忠実に戻るが、細屋根は雪切れAさんたまらず適当に沢へ滑り込み、テレ組はアンテナ？？下を滑走。十五時無事駐車点に着いた。帰りはいつものクソ熱い伊南黒岩？？で温まり、甲子トンネル経由で帰る。